

# 復興推進会議（第23回）

## 議事要旨

日時：令和元年9月20日 9：50～10：00

場所：官邸4階大会議室

議事の概要：

### （1）復興加速化への取組について

復興加速化への取組と今後の復興の進め方について、資料1に基づき、田中復興大臣から報告が行われた。

### （2）出席者からの発言

上記に関して、出席者から

- ・インフラの復旧・復興、住宅再建・復興まちづくり、観光振興に全力で取り組むこと
- ・廃炉・汚染水対策を安全かつ着実に完遂すること
- ・中間貯蔵施設や特定廃棄物埋立処分施設の受け入れにあたり、ふるさとを手放す苦渋の決断をされた地元の皆様の思いを受け止め、受け継ぎ、復興・再生に向けて全力を尽くすこと
- ・農林水産業の中長期的な復興・創生に向けたビジョンを取りまとめたところであり、地域の営農再開に取り組むこと
- ・避難生活の長期化や恒久住宅への移転に伴う被災者の心のケア、医療・介護分野での人材不足を踏まえ、住民が安心して帰還できるようにするための医療・介護提供体制の整備、被災者に対する就職支援の推進に引き続きしっかりと取り組むこと

- ・児童・生徒の心のケアや就学・学習支援、魅力ある学校づくり等への支援、放射線教育の充実、廃炉に向けた研究開発や産業集積を支える人材育成など福島イノベーション・コースト構想の推進、原子力損害賠償にしっかりと取り組むこと
- ・全国の自治体に対する職員派遣の要請による被災団体の人材確保の支援、復旧・復興事業等に係る地方負担に対する震災復興特別交付税による財政措置により、被災団体が実情に応じて復旧・復興事業等を着実に実現できるよう力を尽くすこと
- ・被災地での聖火リレーや競技開催、ホストタウンの推進など、関係機関と連携しながら被災地の方々の声を踏まえた取組を進め、復興の後押しをすること
- ・本年10月15日に福島地方法務局富岡出張所が全面再開するなど、被災者の方々の心に寄り添う法務行政を目指した取組を続けること

等について発言があった。

### (3) 内閣総理大臣挨拶

最後に、安倍内閣総理大臣から、下記の発言があった。

- ・東日本大震災からの復興は、発災から8年半が経過した今なお、内閣の最重要課題である。
- ・閣僚全員が復興大臣であるという意識を共有し、一日も早い被災地の復興に向けて全力を尽くすよう指示する。
- ・復興・創生期間は残り1年半となったが、その後も政治の責任とリーダーシップのもとで、復興を成し遂げるため、年内に復興の基本方針を取りまとめる。

- ・各大臣へ、復興大臣を中心に、これまでに実施した復興施策の総括を行うとともに、被災地の実情をきめ細かく把握するなど、取りまとめに向けて、しっかりと取り組むよう指示する。
- ・「福島復興なくして、東北復興なし」。「東北復興なくして、日本の再生なし」。省庁の縦割を排するとともに、被災者の声にしっかりと耳を傾けながら、現場主義を徹底し、復興の加速化に政府一丸となって取り組んでいく。

(以上)